

●財政基礎講座・財政が怖い人大歓迎 二日間延べ10時間徹底的に学びます。アシスタントがお手伝いするので安心です

# よくわかる市町村財政分析

今回の目玉は、

- ① 財政健全化法のそもそも、を学ぶ。
- ② 類似団体比較カードを使い、財政の特徴を学ぶ。

\* 講座修了者には修了証を発行します。

財政危機。いまやどの自治体でも決り文句です。財政が分からずに残念な思いをいませんか。実はどのまちにも改善すべき多くの財政課題があります。財政分析が苦手な人や忙しくて困っている人のために、二日間で財政分析の基礎が学べる集中講座を用意しました。

各回先着  
70名まで

◇講師 **大和田一紘** 多摩住民自治研究所理事長  
 ◇期 日 **第1回—2014年10月18(土) 19(日) \*内容は2回とも同じです。**  
**第2回—2014年10月25(土) 26(日)**

時間は2回とも1日目午後1時～午後7時30分、2日目午前9時～午後3時  
(時間のある方は二日目終了後、午後4時まで質疑や演習が可能です。)

◇会場 **富士電機能力開発センター** (Tel. 042-585-6334、富士電機の宿泊研修施設です。)

\* JR中央線・豊田駅北口徒歩5分。東京駅—豊田駅は中央特快46分、快速57分。

◇受講料 **24,150円** (消費税込。以下同様)

町村議員と当講座の再受講者 21,000円、当研究所会員は18,900円

◇宿泊朝食 希望者は同じ施設で宿泊できます。朝食付きで6,100円。下記で申し込んでください。

◇テキスト 『増補版 習うより慣れろの市町村財政分析』(大和田一紘著 2,310円 自治体研究社)  
テキストは必ずお持ち下さい。「テキスト事前購入」を希望の方は送料サービスで事前に送付します。

◇特色 どんな資料をどこから入手し、どう読み込むか? 財政指標の意味は? 今後の財政運営のあり方は? 財政改善の手立ては? すべての疑問に答えます。質問や演習の時間も確保して丁寧に指導します。

\* 申込み方法 下記の申込書をFaxまたはメールでお申し込み下さい。申し込まれた方には受講案内(会場地図・宿泊案内・持ち物案内等)をお送りします。

## ◆よくわかる市町村財政分析基礎講座 参加申込書

○で囲んでください

受講日 10/18, 19 ・10/25, 26

割引 町村議員・再受講  
当研究所会員

宿泊(朝食を含む)

希望する・希望しない

テキスト事前購入

希望する・希望しない

氏名 \_\_\_\_\_

領収書宛て先(名称) \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ fax \_\_\_\_\_

携帯電話 \_\_\_\_\_

主催 **NPO 法人 多摩住民自治研究所**

〒191-0016 日野市神明 3-10-5 エスプリ日野 103 Tel.042-586-7651・Fax042-514-8096

Eメール: [tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp](mailto:tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp) ホームページ <http://tamaken.org>

### 第1講 地方財政を取り巻く財政情報の変化 —初めて学ぶ人のために—

「財政健全化法総括表①～④」や「類似団体比較カード」などの新たな情報を加えて公表するようになりました。あふれるばかりの詳細な専門的な財政情報の開示に戸惑っているのではないのでしょうか。また財政健全化法の4指標をキチンと議論しないまま議決してしまったのではないのでしょうか?

講座申込者には、「財政健全化法総括表①～④」の見本と当該団体の「類似団体比較カード」を送付します。

### 第2講 財政健全化法の見方・読み方・使い方(1)

自治体ごとに普通会計歳入・歳出決算額、公営企業会計等、一部事務組合及び第三セクター等の財政状況を示すとともに、9月末に公表予定の速報値を読み解きます。

### 第3講 財政健全化法の見方・読み方・使い方(2) —類似団体比較カードを中心に—

自治体の財政運営が健全であるかを判断するうえで、類似団体比較カードの入手と使い方がいま注目されています。類似団体比較カードを使って表にして作業をすると理解が一層深まります。

### 第4講 まだ間に合う地方財政健全化法のわかりやすさとは —住民の周知と自治体の広報のあり方—

いつのまに大きく膨れ上がった特別会計や土地開発公社、一部事務組合、第三セクターなどわかりにくい会計も9月の決算議会で議決されれば住民にわかりにくい広報になります。

### 第5講 市町村のふところは —歳入の仕組みを学ぶ—

市町村の歳入の仕組みを学び「入るを量って出づるを制す」の意味を考え、更に分権にふさわしい歳入の仕組みのあり方を示します。

### 第6講 市民から見た税金の使われ方—歳出の仕組み—

歳出の分析を通して首長の政治姿勢や政策を学び、新しい住民ニーズに見合った歳出のあり方、土木・投資型(ハコもの)行政から安全・安心、環境、教育、福祉型への転換を考えます。

### 第7講と質疑応答 公共施設の再編をみすえた地方財政のあり方を考える

政府の「公共施設等総合計画策定指針」のもとで「公共施設再編計画」のあり方を考えます。限られた財源で市民本位の施策を実現するためにどうすべきか。その手順や方策にも触れます。

時間割

◇1日目 第1講 13:00～14:00 第2講 14:15～15:45 第3講 16:00～18:00 第4講 18:15～19:30  
 ◇2日目 第5講 9:00～11:00 第6講 11:15～12:30 昼食 12:30～13:30 第7講 13:30～15:00